

ク

ライマックスの撮影とギネス記録に挑戦 市民映画「オシニ」ラストシーン撮影



▲ギネス記録に挑戦する参加者

市民映画「オシニ」のラストシーンの撮影が9月14日、愛知こどもの国で行われました。この日は市民ら約千人が参加し、大勢で笑うシーンや、音楽に合わせて歌いながらダンスをするシーンなどが撮影されました。映画の公開は来年3月の予定です。

撮影終了後には、出演者らが参加し、一斉に片足跳びをするギネス記録に挑戦しました。これまでの記録321人に対して376人が成功し、ギネス社に申請することになりました。



▲約千人の市民が参加した映画撮影記録に挑戦しました。これまでの記録321人に対して376人が成功し、ギネス社に申請することになりました。

看

護の道への第一歩 市立看護専門学校で宣誓式



市立看護専門学校で9月26日に宣誓式が行われ、看護の道への誓いを新たにしました。4月から半年間にわたり看護職について学んできた1年生38人は、自らの目指す看護の道への誓いを一人一人発表。消灯された講堂が厳粛な雰囲気の中、ナイチンゲール像の持つろうそくのともしびを受け継いだ後、「私たちは同じ夢を持つ仲間として、楽しい時も苦しい時も支え合い、共に成長していくことを誓います」と、力強くクラス宣誓文を唱和しました。



観

光のまち西尾を目指し魅力を発信 愛知県観光交流サミットinにしお



▲徳川恒孝氏

観光地としての西尾の魅力を発信するため、第6回愛知県観光交流サミットinにしおが10月2日に行われました。文化会館大ホールで行われた講演会では、徳川宗家18代当主徳川恒孝氏による特別講演や、一龍齋貞花氏の記念講演などが行われ、参加者は観光に関する貴重な話に耳を傾けていました。その後、グリーンホテル三ヶ根で交流会が行われました。県内の各市町観光協会が一堂に会し、自慢のグルメが集結。当市からは、「うなぎコロケ」「みそおでん」「あさりの豆味噌焼き」などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちながら、交流を深めていました。



9/14

市文化事業 劇団四季
「魔法をすてたマジョリン」



子どもの魔女と人間との心の交流を描いたミュージカル。文化会館大ホールは笑いと感動の渦に包まれていました。

9/27 第2回創業支援セミナー

西尾商工会議所で開催。創業に興味がある22人の参加者は、講師や創業成功者の話を真剣に聞き入っていました。



9/28

甲冑武者体験
「君も武将になる日」

旧近衛邸で行われました。参加者は、かぶとやよらい、陣羽織などを身につけ、刀や指揮棒を手に持ちながら、笑顔で記念撮影をしていました。



10/4

岩瀬文庫講座「東海地方の戦国武将、その本当の姿を探る」

東京大学の鴨川教授が織田信長などについて講演。岩瀬文庫地階ホールいっぱい聴講者の数から、この時代の歴史への関心の高さがかがえました。



今月の表紙

幡豆いきいきセンターで行われた鉄道イベント「鉄研」で、吉良高校鉄道研究部のスタッフの指導の下、真剣な表情で模型の電車を操作する子どもたちです。子どもたちが見つめる視線の先には、2両編成の赤い電車がいつまでも走り続けていました。

編集 雑記

鉄道イベント「鉄研」で蒲郡線の紹介パネルが展示されていました。刈谷から碧南を通して線路を伸ばしてきた三河鉄道が、昭和4年に三河吉田（現在の吉良吉田）―三河鳥羽間を、昭和11年に三河鳥羽―蒲郡間を開業。昭和16年に名古屋鉄道に合併されて名鉄三河線の一部となり、昭和23年に三河吉田―蒲郡間が蒲郡線に改められたとのことでした。過去の時刻表の展示もあり、昭和40年代には特急が毎時2本通っていたという観光路線のにぎわいを物語っていました。（み）

渡

リチョウにマーキング
三ヶ根山秋色フェスティバル

「三ヶ根山秋色フェスティバル2014」が10月4日、三ヶ根山山頂駐車場周辺で開催されました。会場周辺では渡りチョウとして知られ、この時期に三ヶ根山や佐久島に飛来するアサギマダラのマーキング大会が行われました。アサギマダラの飛来先を調査するため、参加した親子らは捕獲したチョウの羽に日付や場所を書き込む「マーキング」を体験した後、再び空へ放っていました。特設ステージでは、バンド演奏なども披露され、



爽やかな秋空の下、訪れた人々は心地よい音色に聞き入っていました。その他、会場では、物産展やフリーマーケットなども行われ、大勢の来場者でにぎわっていました。

線

路は続くよ、どこまでも♪
はず夢ウォーク&「鉄研」



名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を図ろうと、10月5日、名鉄西幡豆駅を中心にさまざまなイベントが開催されました。台風の影響であいにくの空模様の中、ホームに降り立った人々は、傘を手に幡豆・友引市や鉄道イベント「鉄研」の会場に向かっていきました。そして、はず夢ウォークの参加者も元気よくコースにスタートしていきました。

幡豆いきいきセンターで開催された「鉄研」では、「にしがま線公式応援ソング」を歌う戸田大地さんのミニライブや三ヶ根マーキングキッズの演奏に多くの観衆が集まり、巨大鉄道ジオラマを行き交う模型の電車で、子どもたちは目を奪われていました。

